

総務文教常任委員会会議録

(令和7年10月30日)

愛 南 町 議 会

愛南町議会総務文教常任委員会会議録

本日の会議 令和7年10月30日（木）
招集場所 議員協議会室

出席委員

委員長	鷹野正志	副委員長	田中純樹
委員	池田栄次	委員	吉田茂生
委員	石川秀夫	委員	金繁典子
委員	中野光博		

欠席委員

なし

出席委員外議員

なし

傍聴委員外議員

なし

職務のため出席した者

議会事務局長	土居章二	主幹	尾川美保
--------	------	----	------

説明のため出席した者

（総務課）

課長	濱哲也	課長補佐	宮下健博
主査	田中雅宏		

（学校教育課）

課長	坂本一利	主幹	池田大作
----	------	----	------

（消防本部防災対策課）

課長	上田耕平
----	------

本日の委員会に付した案件

（１）所管事務調査

□「廃校施設の利活用について」

開会	11時00分
閉会	12時13分

○田中副委員長 時間となりましたので、ただいまより総務文教常任委員会を始めます。

○鷹野委員長 皆さんおはようございます。大分、朝晩寒くなりました。秋らしくなったところでございますが、総務文教常任委員会に全員の出席をいただきまして、誠にありがとうございます。また、今日は、総務課、学校教育課、それと防災対策課の説明員さんにわざわざお越しいただいておりますので、忌憚のない質問等いただきまして、3回にわたる現地調査をしました、それぞれ皆さん、いろんな考えをお持ちだと思いますが、その辺を踏まえて、ある程度、現地、今の現状の廃校施設をどう捉えるかということで話をしたいと思っておりますので、よろしくお願い申し上げます。開会の挨拶といたします。どうかよろしくお願いいたします。

そしたら、それでは早速、議題に入らせていただきます。廃校施設の利活用ということで、先ほど申しましたように、現地調査、3日にわたり町内の施設、教員住宅、あるいは廃校施設等、現地調査をいたしました。それで、皆さんの意見を聞いたらすぐ終わるので、皆さんのタブレットに、現地調査という項目があると思います。それで、その中から、まず教員住宅、教員住宅も結構、町内、本町の中に教員住宅いろいろあったと思いますが、まず教員住宅について、意見を交換というか、質問等ありましたらお願いしたいと思っております。

何かございませんでしょうか。

金繁委員。

○金繁委員 一覧をつくっていただきましてどうもありがとうございました。この一覧に、できたら維持管理費が年間どのぐらいかかっているのか、それから委託先があるなら委託先が民間なのか、お願いできたらと思います。大切な判断資料になるかと思うので、できたら、委員長、お願いします。

○鷹野委員長 そしたら、学校教育課長。

○坂本学校教育課長 教員住宅の維持管理費と、委託しているかどうかということでよろしいですか。

○金繁委員 はい。

○坂本学校教育課長 維持管理については、ちょっと今すぐお渡しできないので、また改めて提出させていただきます。委託については現在、どこか、町以外の方、業者等に委託しているということはありません。

以上です。

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 はい。

○鷹野委員長 いいですか。

○金繁委員 はい。

○鷹野委員長 池田委員。

○池田委員 教員住宅いろいろ見せてもらったんですが、もう全然、除却処分が適当と思う場所とか、ここは大きい修理が要るとか、使うとしたら、これは良好とかっていろいろな見せてもらったんですが、そういうランク分けっていうかそういうことはされた上で管理されているか、また、除却処分をするんだったら、せないけんところがあるんやったら早くしたほうが、時間たつに従って、今、物価高騰で工事費が上がっております。多分、3年、4年いうて先送りしよったら、今の状態でいくと、工事費倍ぐらいになったりということもあるので、なるべく早く、除却する分はされたほうがいいんじゃないかと思うんですが、その点。

それと、管理ですが、除却するにしても利用するにしても、ちょっと見せてもらったところあれ、家串の教員住宅なんかは、屋根、多分ドレンやと思うんですが、そういうところが草が生え、雑草が生えとるということは詰まるとるということで、そういう管理自体もちょっと、まあいろいろ予算の問題、人員の問題あるとは思いますが、そういう点をどういうふうにご考慮されるか、お願いします。

○鷹野委員長 坂本学校教育課長。

○坂本学校教育課長 まず除却の予定なんですけど、老朽化が著しい住宅については、長寿命化計画の中で年度を明記して、予定はしている部分——住宅は一部はありますが、ただ、池田委員がおっしゃられたように、この施設については除却する、ここについては修繕して何らかの利用を行うというような、細かなそういう管理は今、行っていないというような状況にあります。

あと、屋根のドレンの詰まりであるとか、そういう通常の管理ですかね、これも閉校となった学校とは違って、特にこれといった管理はしていないというような状況でございます。

以上です。

○鷹野委員長 石川委員。

○石川委員 現地を見せていただいて、使えるところもあるし、先ほど池田委員が言われたように除却すべきところもある。しかしながら、今、計画自身が、愛南町としてどういう方向で、この物件はどうするこうするというのが、計画がないというところに私問題があるんじゃないかなと。売却も含めて、その辺りを一回整理して、まず計画をつくるというところから、つくっていかないと、これ手をつけるいうても、思いつきでできるわけでもないし。この、使用されていない教職員住宅、売却して買う人もおるかもしれんし、手を入れずに売却という方法も考えてもいいとは思いますが、まずはそれにしても計画を、方向性、これをしっかりと、愛南町としてどうするということを決めていただかないといかんのじゃないかなというふうに思っています。

○鷹野委員長 その辺、何かありますか。
課長。

○坂本学校教育課長 確かに、委員おっしゃるようにその計画、それぞれの住宅を整理して、現状をしっかりと整理して、どうしていくかっていうような計画をつくるのはまあ、必要であろうと私も考えます。

ただ、現状その教員住宅としての縛りがあるということで、仮に教員住宅、当然、学校も少なくなって先生の数も減っておるので、これから先生が新たに入るというのは恐らく、なかなか現実的じゃないのであろうと思います。

ですから、仮に一般に供用するとしても、教員住宅ではなくて一般の町有住宅というような形で所管替え等が必要になるのかなというところもあったりしますし、また移住・定住者向けの住宅として何らかの整備をするにしても、またそういう担当部署とも協議を当然する必要があるのです、教育委員会だけではなくて、町長部局も含めて、関係する課も交えて、今おっしゃられたような今後、教員住宅をどうしていくのかというようなことは考えていく必要があるのかなとは思っております。

以上です。

○鷹野委員長 石川委員。

○石川委員 今現在は多分、行政財産ということで、学校教育、教育委員会のほうが担当していると思うんですが、先ほど言ったその計画に、やはり行政財産から普通財産に移す物件、この辺りも早急に私はまとめる必要があるんじゃないかなというふうに思います。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 私も多分、同じ意見なんですけど、見た限り、A B C Dのランクづけがいいのかどうか分かりませんが、これはもう早急にランクづけをして、もう、例えば魚神山だったですかね、住宅なんかはもう、ほとんどもう廃墟の状態なので、ああいうのはもう早めにもう除去して、公園なら公園なのか何も使い道がないのであればもうそうするか、それから使える物件がかなりありまして、これ今学校、普通財産に替えれば、いわゆる若い人たちが住める町営住宅がないということなので、ここは十分、まだまだ貸出しできる、例えば1万5,000円とかそれぐらいであれば、十分貸出しもできるし、ここは早急に、多分職員がきっちと草刈りを

して、見える状態で我々見てるいので、あれが多分きれいな状態であれば、もう全然使える状態だと思うんですね。そこは町を責めるんじゃないくて、我々議会としても、いろんなところ視察をしながら、少し有効活用していくということで、ここはぜひとも、計画というんですかね、A B C Dのランクづけと、それから今後どうするのか、これはぜひ早急にしていいただければ、計画をしていいただければ、また視察も含めて、我々も協力しながら改善策を見出していければいいのかなと。まだ全然使える物件があるので、ぜひそこは有効活用してほしいなど、ぜひ私はそう思いました、教員住宅についてはですね。

○鷹野委員長 池田委員。

○池田委員 一つちょっと提案といいますか、普通財産にして、借家とか、賃貸で貸すのはいいんですが、需要がなければ、どういう方法で入居者を募集するか分かりませんが、改修して、お金かけて、さあ募集しました、需要はありませんでしたっていうのも、これも相当無駄な話で、やっぱり前もって需要を調べたほうが、例えば家串、中浦とかだったら、その地域の方々がまず需要があるとか、一つあれなのは、いろいろ福祉関係とも連携しながら、お年寄り——独居の高齢者で、自分とこの自宅がもう古くなって住むのに不安とかそういう方もおられるかもしれないので、そういう広い需要を、まず需要を確かめないと、需要もないのにすごい改修にお金かかると思いますので、その辺も考慮されたほうがいいんじゃないかと思います。

以上です。

○鷹野委員長 今のことについて何かありますか。需要がまず必要だということで、需要、供給のバランスなんだけど、費用対効果、直しても全然入らなかったらこれこそっていうこともあり得ると思うんですが、その辺に関して何かありますか。

金繁委員。

○金繁委員 私も池田委員のおっしゃるとおり、需要が必要だと思います。それで、それをどういうふうに調べるかなんですけれども、それ以前にやはり、調べる状態にあったかどうかっていうことで、やっぱり先ほど坂本学校教育課長からもありましたように、やっぱり行政財産として、教育の目的に使わないといけないうことで今保有されているので、一般向けの住宅にして、移住者向けにして、需要があるかどうかっていうことを考える状態にはなかったと思います。

なので、課長が先ほどおっしゃられたように、やはり横断的なチームなりをつくって、審議会なりつくって、そういうマーケットを調査するっていうことも、専門の方に入ってもらったりなどして、する必要があるのではないかなと思います。

今の段階で需要がありますか、調べていますかっていう質問はちょっと酷な気がして、すいません、発言させていただきました。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 これ、普通財産にするのはこれ難しいんですかね、手続上。

○鷹野委員長 坂本学校教育課長。

○坂本学校教育課長 庁内手続になりますので、特にそんなに難しい作業があるわけではありせん。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 それじゃあ不動産鑑定士に見ていただいて、これ貸せる貸せないっていうのも含めて、その判断はジャッジすぐしてくれると思うんですね。その中でも要らないものは、それは後は普通財産に替えて、町が考えることなので、そこはもう全然、早いスピードで僕はこれ可能だと思うので、まずそこは仕分けはまずしなきゃまずいなと思うんですね。

○鷹野委員長 課長。

○坂本学校教育課長 今、吉田委員から御提案ありましたように、まずはやはり住宅のランクづけがまずは必要だと思いますので、その部分は当然、現在の所管として我々がやらせていただい

て、その結果を見て、さっき金繁委員が言われたみたいに庁内横断チーム的な協議をまあ総務課はじめ、関係課としていくのがいいのではないかと今思ったところではあります。

以上です。

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 それで提案なんですけども、チームをつくるプロセスからして、やはり先進的なというか成功したところを、私たちも一度視察してみたらどうかなと思うんですけれども、それが提案です。

○鷹野委員長 石川委員。

○石川委員 先ほどからちょっと賃貸の話とか、需要がどうのこうのという話が出ていますが、私、これはもう、どちらかといえば売却を念頭に置いて、もうお金をかけずに売却をしていったほうが、買っていただければ管理費は要らなくなって固定資産税入ってきますので、どちらかというと競売か何か、方法はいろいろあるかとは思いますが、私はもう賃貸で管理費かけてどうのこうのっていうのはちょっと難しいんじゃないかなと。

先ほど言ったように、需要と供給のバランスがあって、お金はかけたけど結局入る人がおらんというようなことならば、やはり売却を念頭に置いて、売却できなかったものをどうするかと、賃貸にするかという方向で考えたほうが私はいいと思いますが、先ほど金繁委員も言われたように、やはりその辺りの、やっていった自治体もあるかと思うので、そういうところを視察して、執行部のほうに提案できるような形に持っていきたいんじゃないかなというふうに思います。

○鷹野委員長 先ほどからちょっと、行政財産から普通財産、今、石川委員が売却も含めてそういうことも考えたかどうかという意見があったんですが、総務課長はどういうふうに考えます。総務課長。

○濱総務課長 先ほど石川委員がおっしゃったことで、先ほど冒頭では教員住宅のことについてでしたが、石川委員と池田委員、そして金繁委員がおっしゃったことは、町のいわゆる全て財産に係る全てのことになってこようかと思います。

おっしゃるとおり、今のところ計画についてはございません。今後それを行っていく上では、皆さんも恐らく記憶にあると思うんですけれども、議会の場で、町長も財産に関することについては何かしら手を加えていかないといけないなというふうな御発言が以前ありました。

なので、これについては先ほど坂本学校教育課長がおっしゃったように、横断的なもので考えていくべきことであり、そして石川委員が今おっしゃった売却を念頭にということも、池田委員の御発言と合わせると、売却にかけても買ってくれる人がいるのかっていう心配もございます。改修してもそこに入ってくれるかというそのニーズのこともあります。それを踏まえると金繁委員の先ほどおっしゃった、需要を専門家に依頼するっていう方法も含めて、今現在はどういう回答になるか、皆さんに的確な御回答はできませんが、そのような方向で進めていくべきではないかなというふうに考えています。

以上です。

○鷹野委員長 中野委員。

○中野委員 今、総務課長言われましたけど、貸すにしても売るにしても、何かちゃんとして、そうしないと駄目なのか、そうじゃなくて今の時代どこの自治体でも、もう居抜きで、家賃が安かったらいいですよという人もおると思いますし、そして、自分で自由にDIYでリフォームしてくださいというのもありますし、それに応じた契約で、そういうことも可能なんだろうと思うんですよ。

だから最初に池田委員が言われたように、いきなり改修してどうですかって、きれいなままじゃなくてももうそのままの状態でも耐震に問題がなければ、そういう形も取れると思うんで、まず転換して売却、あるいは賃貸して、今のままで見てもらって、この部屋を借りたいとか、自

分でリフォームしたいとか、リフォームしてもらったらそれに応じた家賃も決められるし、とにかく先に金をかけてしまったら駄目だと思うんですね、今の時代ね。

だからそういう、ちょっとこう発想転換して、そういう考え方もしながら進めていっていただいたらと思うんですがいかがでしょうか。

○鷹野委員長 濱総務課長。

○濱総務課長 おっしゃるとおりで、例えば進め方としては、今、中野委員が提案してくださったのは、例えば、今現在何も手を加えずに買ってくれる人がいないかという公募を出し、その後、そこに需要がなければ更地にして売却をするっていうふうな２段階で、そういうふうな考え方のできるのではないかというふうに受け止めたんですが、それは間違いないですね。

その方向性も含めて、先ほど申し上げたように、今現在こうしていきましょうという具体案は今のところ持ち合わせておりません。先ほどの金繁委員がアドバイスいただいたその専門家も含めて、今後議論していかなければならないのかなというふうに思っております。

以上です。

○鷹野委員長 中野委員。

○中野委員 今、売却と更地っていう話ですけど、賃貸にしてもそのまま住めるところありますよね、割とね、そのままでいいと言えね、借りる人が。ほしたらどうぞ家賃を安くして、このまま住んでくださいというような形。もうリフォームして、福浦の教員住宅なんかもリフォームしたまま一度ももう十何年間入っていないところもあるんですよ、リフォームしたまんま。それでもかなりやっぱり見た目が傷んでくるし、合理的じゃないと思うんですよ。そういうところはもう居抜きで、使おうと思うたら使える場所ですから、もうちょっときれいにしてもらわんといけんいうたら家賃を計算して、リフォームの兼ね合いしながら、そのまま借りてもらえるとか、自分でリフォームしてもらえとか、そういう貸し方、契約の仕方があるんじゃないかと思うんで、そこら辺り、賃貸の部分がちょっと出てこなかったんで、どうなんでしょう。

○鷹野委員長 どうぞ。

○濱総務課長 繰り返しになりますけども、いわゆる実行する計画が今ありませんので、いずれにしても今後議論が必要だなというふうに思っています。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 後でちょっと提案しようかなと思ったんですけど、砥部町で遊休資産の地域共生型バスツアー、今度１１月２８日に開催するというので、いろいろと廃校とか空き店舗、砥部焼の窯といった地域資源、資産を未来に描く場として提供していきますと。これ行政と伊予銀行とそれから民間の会社が入って、そういったこともありますので、これはお金をかけて改善しなさいよという提案ではなくて、まず今の、普通財産にするならするで、それから計画を立てて、貸すのかそのまま売却できるのか、まあそういうのを含めて、やっぱりある面では本当仕分けをきちっとやっぱりやっていくべきだろうと思います。改装してどうのこうのとか、貸すとかあれにするのはもう議論は先ですから、そこはまず最初にしてもらいたいなと。

これであれば、まあ後で提案しようかなと思ったんですが、事前に砥部町に行って、どういうふうな形でやるのかっていうのも、ちょっとこう、視察するのも一つの提案なのかなというふうには思っていますので、本当にまずスキームをつくっていただいて、どうするのかというのをまず決めていただくのは町のほうでやっていただきたいというふうに思います。

○鷹野委員長 課長。

○濱総務課長 １１月２８日は砥部町であるんですか。

○吉田委員 砥部町でね、１１月２８日に、遊休資産をテーマとした地域共生型バスツアーを開催しますと。松山に近いのでいろいろと再活用をどうしようかっていう話がもう進んでいるみたいですので。

○濱総務課長 それは砥部町の人ではなく、町外も参加は大丈夫ですか。

○吉田委員 自由だと思います。

○濱総務課長 ちょっとその資料をまた共有していただけたらと思うんですけど。

○吉田委員 後で提案しますが、視察も、行ければなと思っています。

○鷹野委員長 まあ学校施設、まあ今、教員住宅また学校施設ということであれなんですけど、ちょっと話題を変えて、今度備品についてちょっと……

金繁委員。

○金繁委員 先ほど維持費をお願いしますと申し上げまして、民間のだけだったんですけど、もう一つ、職員の方が年にどのぐらい廃校施設とか教員施設とか、教育委員会が持っていращやる施設の草刈りとか、見回りとか、いろいろされていると思うんですけど、そこにかかっているその時間、どのぐらいなのかっていうのも併せてお聞かせいただけたらと思います。

これは、される方は、兼任でされていると思うんですけど、どんな仕事で、公共施設管理とほかの仕事を兼任されているんですかね。それをお答え、お願いします。

○鷹野委員長 坂本学校教育課長。

○坂本学校教育課長 閉校施設の管理なんですけど、いろいろパターンがありまして、例えば魚神山小学校、東海小学校と、あと満倉小学校、この3校については、地元の人をお願いして、月1回の施設の管理をお願いしております。

そのほかの学校については、スクールサポートスタッフという会計年度任用職員がいるんですけども、基本この方は城辺中学校に常駐して、簡易な修繕とか、そういうことの対応に当たっていただいております。このスクールサポートスタッフがそのほかの閉校学校ですね、さっき挙げた3校以外の、そこも月に1回管理、異常の発見であるとか、異常がないとかそういう維持管理のほうで動いているというようなどこです。

あとは必要に応じてうちの学校教育課の職員が現地に行って、対応しているというような状況でございます。

以上です。

○鷹野委員長 管理費は。

○坂本学校教育課長 管理費は、すいません、正確な金額はまた後でお知らせするんですけど、恐らく月3万円ぐらいじゃなかったかなとは思いますが。

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 ありがとうございます。それで今おっしゃった、スクールサポートスタッフさんと、それから職員の方、実際に管理の業務に携わっていращやるということで、業務にかかる時間は後ほど出していただくとして、それぞれの方はほかにどんな業務を兼務されている方になるんですかね。

○鷹野委員長 坂本学校教育課長。

○坂本学校教育課長 スクールサポートスタッフは、先ほども少し言いましたが、基本、城辺中学校にいます。その城辺中学校以外の各学校です。例えばその、どこか、ちっちゃな、業者をお願いしなくてもできるような修繕とか、そういう部分でいつも動いていただいております。かなりこれは、その、おひと方だけなんですけど、かなり各学校もちょっと助かっているというところはあります。それ以外の、職員についてはうちの学校教育課の施設係が対応しているということになります。

以上です。

○金繁委員 兼務はされていないんですか。

○坂本学校教育課長 当然、兼務です。ほかの仕事と。

○金繁委員 どんなお仕事と兼務されているかというのをお聞きしています。

○坂本学校教育課長 基本、施設係になりますと、例えば、まあもちろん閉校の関係の業務であるとか、今の学校の工事関係です。工事・修繕関係の業務、あと学校のICTの関係の業務

になりますかね。あとは、大きなメインの業務となると今の3つになります。

○**鷹野委員長** そしたら、先ほど出た備品ですね、これも廃校になった学校をそのままその備品を放置している状態、この椅子はまだ使えるがとか、テレビはもったいないがとか、そういう意見が現地でもちょこちょこ聞かれました。その備品につきまして、委員の皆さん何かありますか。

池田委員。

○**池田委員** いろいろ見せてもらって、びっくりしました。すごい、台帳に載らない備品というか、細かい備品が物すごくあります。特に理科室とかそういうところへ行くと、びっくりしたのは、温度計が束になって戸棚の中に置いてあるとか、ばねばかりがあるとか、教材に使うプリズム関係、教材関係があるとか。あれはもう、今のカリキュラムでは使えないであそこに置いてあるか、今、開校している学校ではもう足りるので、置いてあるのか。

それと、もう一つは保健室を見て僕びっくりしたんですが、保健室のベッド、布団が敷きっ放しとか、これは、ちょっとどういう、どういう意味なのか。

それと薬品、大事な薬品は処分とか管理されとると思うんですが、薬品も置きっ放し。各教室、戸棚、中、棚、戸棚があれば中にもう全部備品が入っとる。あれ、ちょっと、いろいろ人手と予算とは分かるんですが、もし、ちゃんと整理といいますか、もう出して、段ボールに入れるとかそういうふうにして、1か所、2か所、3か所、まとめる必要もあるんじゃないかと思います。特に、西海の中学校、校舎が指定避難所になっておりますよね。あそこの校舎玄関、あれはトライアスロンの備品を置かれとるのは分かるんですが、あれ、いざ今日地震があったら、あの校舎使えませんよね。体育館が避難所になっとるけど、体育館だけじゃなくて、また特に指定避難所になっとるので、長期になったら校舎使わんと、まあ校舎も指定されとる。で、短期の避難でも体育館だけでは避難が完結するわけじゃなくって、体調を壊された方、障害を持たれた方は教室とか別室で、そういうことも計画されとると思うんですが、もう少しこう、どこの校舎でもですが、備品を、ちょっと時間はかかると思いますが整理されて、空いた校舎を、教室をつくるとか。で、保健室、特に指定避難所になっとるところは大切やと思いますので、もうちょっとこう、布団を置かれるんやったらちゃんと保管してすぐに使えるような状態にするとか、そういうことをされたらいかがでしょうか。

工作室の備品なんか見ると、ボール盤とか糸鋸とかいろんな工作機械あります。あれ、使わん、地元で使われんのだったら、誰か利用される方がおられたら引き取っていただくとか、技術室の机なんか、理科室の机なんかすごい丈夫、これ買ういうたら大ごとぞってというような備品もありますし、そういう備品をもうちょっと整理されて、引き取るものは引き取ってもらう、部屋を整理することもちっと大事じゃないかと思うんですが、どのようなお考えですか。

○**鷹野委員長** 坂本課長。

○**坂本学校教育課長** すみません、いろいろ御迷惑をおかけしています。もう池田委員がおっしゃるとおりなんですけど、これまで閉校になった学校についてですけど、通常の流れでいうと、閉校になりました、で、まだ当然、いろいろ使える備品があります、それについては各学校、ほかの学校が必要な、順番としてはほかの学校に声をかけて、必要なものがあればうちのほうに声をかけていただいて、うちが間に入って、どこの学校が何を持っていったというのは、管理はするようにしておりますが、多分今、温度計とかいろいろおっしゃられたんですけど、多分残っておるのは多分もう、恐らく使い道がなくて、そのままになっていると。恐らく、まあこれ僕の想像なんですけど、多分もう要らないものは、そこに置いとったら、多分そのうち校舎ごと除去されるので、そういう多分意図もあったんじゃないかなあとは思いますが。やっぱり閉校になって、その都度処分すると費用もかかるので、やっぱり多分そういう意識とかもあったんじゃないかなあとは思いますが。

なので、総合的な、各学校を含めた、ほかの学校も含めた総合的な意味合いで使っていたと

いう部分もあるんじゃないかなあとは思ったりはしているところです。

あと、おっしゃられた今の技術室とかにある工作関係なんですけど、それは確かに使える部分については、うちとしてもオークションとかにかけて、今後やっていきたいとは考えています。

この間、先般、東海小学校のほうで9月の頭に備品の、一部音楽備品であるとか、机、椅子を、初めて、ちょっとオークションやらせてもらったんですけど、結果、収入としては3万7,000円ほどの収入になりました。あわせて給食センターの古いお盆であるとか食器もやったんですけども、こちら1万2,000円ぐらいの収入になりました。

収入としては僅かですけどやはり続けていって、使えるものは町民の皆さんにできるだけ還元できたらいいかなと思っておりますので、さっき御提案のあった当然工作室の機械工具類ですよね、それもちっと今後うちのほうで整理して、また順次オークション、売払いはやっていきたいとは思っていますが、いかんせんちょっとやっぱり人手がかかったりして、なかなかちょっとそちらをメインにっていうところが非常に難しいとこがあって、仮に専属で、例えば会計年度任用さんとかがいれば大分違うので、スピード感も大分違うんでしょうけど、現在のうちの職員でほかにも業務を持ちながらっていうところでなかなか厳しいところはあるんですけど、今回、一回できましたので、そこをベースとして、一回やってみていろんな反省点とかもありましたので、そこを踏まえてまた次回やる際にはまず、いろいろ考えてやっていきたいと思っておりますが、取りあえず次の、としては内海中学校ですかね、まだ新しいですので、その備品を整理させてもらって、オークションとかを次回、2回目はやりたいとは考えております。

以上です。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 これもお金多分かかると思うので、これボランティアで募集して、どうですか我々も行きますし、ボランティアで、これも一回やって、さっき金額での売上げじゃなくて、物品がなくなることでこれが整理なので、これが十分効果があると思うので、これはもう本当ボランティアで、我々も、すいません、我々もじゃなくて私は行きますので、そういうボランティアでしながら、職員と、それから議会も含めて、それから町民の方も含めて、一回こういう現状なので、みんなできれいにして、もし必要なものがあったら、オークションでやりましょうと。

実際に一部、僧都辺りでグラウンド・ゴルフをしていた人に聞いてみたら、中にある椅子は欲しいというふうな需要もあるわけです。これはもう早急に、一個一個片づけていけば我々も言うだけじゃなくて私は個人的にはボランティアしますので、ぜひそういう活動を、これはもういつでもできると思うので、ぜひそれはやってもらいたいな、やってもらいたいなと思うし、私はやりたいなというふうに思っています。

以上です。

○鷹野委員長 金繁委員。ああ、課長。

○坂本学校教育課長 ありがとうございます。吉田委員が御提案された、確かにボランティアの募集で、広報とか防災無線とかケーブルテレビとかで声がけして、そういうチームを組んでやるというのは確かに、非常に有効な手段だと思いますので、ちょっとそこはまたうちのほうで考えさせていただければと思います。

○吉田委員 それともう一つ、結構、また写真撮っているんですけど、結構使えるもんで結構あったんですよ。もうそのまま本当に、きれいに拭いて、ぱっとう展示をして、やれば全然使えるものが結構あったので、本当にさっき池田委員も言いましたように、必要なものはね、ただであげるってのはちょっと問題あるので、100円でもあれでも寄附でも構わないので、それは早急にできると思うので、ぜひそこは実行してもらいたいなというふうに思います。

以上です。

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 すばらしい提案だと思います。フリーマーケットのようにしながらやったら結構楽しんで、地域の人にもたくさん来てくれるんじゃないかなと思います。

あと防災の観点からなんですけど、指定避難所に指定されているような、西海の中学校ですと、もう西海地域全体の方たちの避難所になるじゃないですか。なので、教室とかは、避難されてきた方たちがずっといられるように、避難所設営をするっていうことを考えていらっしゃると思うんですけど、教室の何階のどの部屋をどういうふうに使うとか、ここは体の不自由な人とか高齢者とか、そういうふうな構想ができていのかどうか。まあつくってほしいんですけど、それをもし、地元の防災会の人たちと、これからつくるんだったら、一緒につくっていただきたいんですけど、そのときに部屋の整理も一緒に、この部屋を使いたいねとか、整理もじゃあ地域でやりましょうとか、不要になったものはちょっとフリマ形式で地元の人にも来てもらおうとかすると、また活性化にもつながるかなと私も思いました。ですのでちょっと防災の観点も入れて、地域の方と一緒にできたらなああと、したらいいんじゃないかなと思いました。

○鷹野委員長 上田課長。防災面から。

○上田防災対策課長 全くそのとおりだと思います。今、避難所運営マニュアルというものを作成している途中でありまして、それには当然、まず防災のほうで素案をつくりまして、避難される、例えば西海中学校でしたら西海中学校に来られる防災の関係者と集まって、今言われました避難所をどういう区分けをする、体育館に当然最初は集まるんですけど、その中から、その場所ではちょっと都合が悪い、要配慮者といわれる方がいらっしゃいましたら、そういう方を教室のほうにという、そういう今、区分けも含めたマニュアルづくりをつくっているのが一つあります。

今、備品が確かにありまして、先日、私も西海中学校のほうを視察というか、見に行かせていただいたら、まず職員室棟のところについては、今トリアスロンの備品が全て置かれていました。横の、今度、教室棟のほうにつきましては、1階は生涯学習課ではないかなと思うんですけど、文化関係の本が山積みになっていまして、2階、3階の教室についてはもう完全に空な状態で、そこについては今、使える空間とはなっています。ただ、当然、配慮者なので2階まで行けるかとかいう問題はあるんですけど、なのでその辺りは確かに整理して、1階がまずやっぱり使える状態を確保しないといけないのかなというふうには思っています。

ほかの学校についてはまだちょっと見れていないので、その辺りはまた協力してやりたいと思います。

以上です。

○鷹野委員長 それは事前復興計画の一つのあれになるんかいな。事前復興計画の一部と捉えていいんかいな。

上田課長。

○上田防災対策課長 そうですね、事前復興計画は当然、今、災害がない状態に、こういう準備をしていくというのも一つの、方策の一つにありますので、それも当然入ってきます。

○鷹野委員長 田中副委員長。

○田中副委員長 吉田委員と同じように僕もボランティア参加したいなと思っています。今の販売方法だと、実は入札形式になっていて、現場で売り買いっていうことをできないようになっていいる。だから吉田委員言われるように、物を減らすっていうほうがやっぱり僕はもう重きだと思うので、やっぱりそのボランティアを集めて、多少の、例えば金額の、町の財産であるので、そういうのをちょっとはばかるかと思いますが、多少その金額が違っていても、現場で取りあえず現金の受渡しがあったとしても、そういうのをやれないと、多分スムーズにあれだけの

物量をさばくことはできないと思います。

なので、そこら辺も考慮に入れて、やるっていう前提で僕話していますけど、ボランティア集めて、学校の備品をオークションで、オークションというかフリーマーケットのように販売するっていうことを、考えていただきたいなと思うんですけど、どうでしょうか。

○鷹野委員長 坂本課長。

○坂本学校教育課長 ありがとうございます。今、田中副委員長がおっしゃられたように、いろいろやり方があるかと思いますが、また、どういったやり方がいいのかっていうことも含めて、そういうボランティアチームとかを結成した中でまた協議をして、一番いい方法を探っていくのがいいのかなとは思っておりますので。

確かにちょっと現場、我々の役場の職員的な考えでいうと、なかなか現場で現金受け渡してっていうのが、公金になるので、そこはちょっとどうかなというところがあったりもしますので、そこはできるだけやっぱり柔軟な方法で、皆さんがやりやすい形では考える必要はあろうかと思いますが、一番いい方法でちょっと協議・検討を進めさせてもらったらと思います。

以上です。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 課長に一つ聞きたい、学校に例えば、備品がありますよね、これって棚卸しはできているんですか。どこに椅子が、机が何個あってっていうその棚卸しはできているんですか。

○鷹野委員長 坂本課長。

○坂本学校教育課長 一応なんですけれども、各、例えばどこどこ学校に備品が、こういう備品がありますという一覧、台帳はあるんですけれども、あるんですけど、実際……

（「タブレットに出ている」と言う者あり）

○坂本学校教育課長 棚卸しはできていないですね。今、こういうリスト、ここにありますがというリストがあるというだけで。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 これは別にオークションにかけてもいいものなんですよ。

○坂本学校教育課長 学校としてはもう、全く使用用途としてはないので、それは大丈夫だと思います。

○鷹野委員長 石川委員。

○石川委員 先ほどからオークションとかフリーマーケットとかいう話もあるんですが、この備品を、1か所に、どこか学校指定して、集めるという方法が一つあると思うんですよ。先ほど言ったように、西海中学校なんかの雑然とした状態を改善するにも、備品を1か所に集める、そういう作業をする必要があるんじゃないかな。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 多分それ経費かかるので、多分不可能だと思います。倉庫も必要ですから。それはね、一個一個解決したほうがいいです。一回、西海で、防災も関係するのであれば防災課も出る、それから学校教育も出る、議員も出る。で、一回それで奉仕活動をして、余っている物、一回やってみたらね、意外とこれ、そんなに金かけ、まあお金のことじゃない、予算かからずにこれやれると思います。これ気持ちの問題ですから。これはぜひ一回ね、西海は早急にやらんといかんのかなと思いますので、やってみたらどうですかね。一つの提案です。

○鷹野委員長 備品のことは大体出そろったと思いますが。

中野委員。

○中野委員 ちょっと今、水差すようですけど、さっきも言ったように1万円とか3万円とかいったら、職員も出んといかん、みんながボランティアも募らんといかん、もういつそのこと、もう大体家庭でも1年もしたら大体もう破棄せんといけんもんで、多分、再度利用する物が家庭なんかでもないの、恐らく学校単位で皆さん来てくださって見てもらって、欲しいものな

んですかって言って、これ欲しいって予約を受けて、金額を後で決めてあれして売って、後の物のはもう処分していくしかないんじゃないですかね。どうしても使わんといけんところは順番にやっていって、そういうことでせんと、結構、費用対効果でいうとあんまりボランティアしたとか、オークションとかフリーマーケットっていっても、また出して、整理してきれいにして、また売れるものはまた戻してみたいな、とてつもない町の負担にもなるんじゃないかと思うんですよ。そこら辺り、だから本当に現実的なんだろうかと僕思うんですが。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 要らないものはもう廃棄ですよ、当然。もうそれは整理していきましょうということですから。お金もかけずに、効率的にやっていくと。町民もそういうふうに欲しい人がいるんですから。我々はやっていくと。全然いいことだと思いますよ。お金、残った物はもう廃棄ですよ。

○中野委員 いや、出したり入れたりというのが、それだけ売れるのかというちょっとあれもあるし、もう出してあれしなくても学校の中を、今日はこの学校でやりますみたいなので見てもらって、そういう形。いけなんだら業者に、何ていうんですか、リサイクル業者を呼んで、この学校ごとに、そういう形で要るもんないですかいうて処分していくしか、ある程度余ったものはもう処分していくというような形にせんと、なかなかこれ、少々のことでは片づかんのじゃないかと思うし、費用もかかるんじゃないかと思うんですがね。

○鷹野委員長 この備品に関しては、いろいろ意見はあると思いますが、この辺はまた執行部のほうで、いろいろ考えて試行錯誤、いろんな方法でちょっとトライっていうか、ちょっと一回やってみて、成功すればその方向でやるとか、その辺で反省とか出てくると思いますので、その辺ね、考えてやっていただければというふうに思っています。

金繁委員。

○金繁委員 備品を少なく、整理するっていうことが最優先課題になっているんですけど、ただそれが何のためにするのかっていう目的をやっぱりもう一回考えたほうがいいかなと。

防災ですぐに使うかもしれないっていうところはもう最優先で整理しないといけないと思うんですけど、もうほぼ使われることもないし人も訪ねてくること、売却とかもないだろうというような施設があれば、それはもう行政側としては処分するっていうのはもうお金と手間がかかるので、もう優先順位はかなり低くして、できればそのままにしておきたいっていうのが本音だと思うんですよ。

そこまで整理する目的がないのに整理しなさいっていうのもちょっとおかしい感じがしていて、なので、その中でもね、すごくこう、理科室の、何か道具のすごい好きな人とかが欲しいっていうのがあるかもしれないですけど、それはもうオークションとかに個別出していったらいいことで、お金もかからない、手間もかからないので。ただその目的をしっかりと上で、優先順位をつけて、着手するのが必要ではないかなと。今の議論だと何もかも全ての学校を整理するみたいな方向かなと思って、それを意見しておきます。

○鷹野委員長 あと、学校、廃校になった学校の利活用ということをトータル的に、結構、教員住宅が最初に出てしまったので、廃校になった学校の利活用っていうことについて意見のある方、もしおられたらお願いします。

池田委員。

○池田委員 個別で申し訳ないんですが、魚神山小学校は物すごく校舎、中、豪華。景気のいいときに建設したんやと思う。中、豪華で、すごくもったいないですね、見たら。魚神山小学校の校舎は今どういう、買い手があるとか、何かそういう打診があるとかっていうのはないかということと、同じ魚神山小学校の体育館ですね、体育館もまだ新しかったですが、雨漏り、ちょっと中入れなんなんですが、外から見て雨漏りしよるんやいうことで、何で雨漏り、どっから雨漏りしよるって言ったら、どうも、恐らく天井、天井いうか屋根の通気口から吹き込んでき

よるんやないかというような話もちらっと聞いた。雨漏りしたまま放っておくと、もう除却するんやったら構いません。使い道もうないんで。将来除却っていうほうに、ランク分けいかそういうふうな方針でいかれるんやったら構わんですが、もし使うとか何とか、これ雨漏り、床そのまま置いとったら、今度やれ買手がつきました、そのまま引き取ってくれたらいいですけど、使用する人がありました、地元が使いたいですって言ったときにまた改修せないけんとか、その辺もちょっと考えていただいたらと思います。

それと、あと武者泊の学校の校舎のほうなんですけど、今地元が物置に使われとるっていうことで、あそこも、校舎のほうは建築年数が古いんだと思うんですが、外壁にクラック相当見ました。これも、そういう物置としてとか、地元の需要で使われるんなら、一回、ちょっと、そんなに大した検査なんかせいでもいいんで、調べて、長く置かれるんであれば調べてもらったほうが良いと思います。

表面だけの、表面のモルタル仕上げだけのクラックやったら何ともないですが、構造体まで入っとったら、多分、潮風の当たるところであれだけのクラック入っとったら年々、構造体、駄目になると思いますので、その辺を、もうちょっと検討していただいたらと思います。

それともう一つは、内海中学校でよく、要望といいますかお話があるんですが、ちょっと耳の痛い話かもしれませんが、校舎の跡地の草、隣で畑を耕作しとるんやけど草が繁茂して、刈ってもらえんやろうかっていうのは度々受けます。そこだけやないと思いますので、公共の施設が地域の環境を悪化してしまうとまた本末転倒なので、その辺も、ちょっと、いろいろ、いろいろあろうかと思いますので。お金もかかります。防草シートを張るとか、何かそういう対策も考えていただいたらと思います。

以上です。

○鷹野委員長 坂本課長。

○坂本学校教育課長 たくさんありがとうございます。

まず魚神山小学校の件なんですけど、魚神山小学校は、恐らく4、5年前でしたかね、民間の方がプール用地を購入されたということで、売却しています。その後、その会社のほうから、学校のほうもどうかというような打診は頂いていまして、まだ、具体的にまだ進んでいないんですけど、一応うちのほうとしてもそういう方向で対応しておるところです。ちょっとまたその中で、体育館が含まれるかどうかというのはまだちょっとはっきりはしていないんですけれども、というところです。

あと体育館の雨漏りなんですけど、確かに池田委員がおっしゃるように、しっかりと修繕をして、その後に備えることが確かに、それができれば一番いいんですが、ただ、通常使う頻度がほぼないところを修繕するとなると、やっぱりちょっとほかの教育予算の、学校施設の管理予算との優先順位を考えるとやっぱりどうしても後回しにならざるを得ないというところがあって、ちょっとそこはなかなか難しいのかなと。ただ、避難所になっているというような体育館であればそういう、当然、そういう修繕は必要であろうかとは思いますが、そうではない体育館とかがあるのであれば、ちょっとなかなかその修繕っていうのは難しいのかなあとは思っています。予算的な面で思っております。

あと内海中学校の草刈りの件なんですけど、これについても確かに、うちのほうにも地域の方からいろいろ御要望いただいていまして、地域の方が今ボランティアで周辺の草刈りとかもしていただいているところあるんですけど、夏場なんか非常に暑い中でやっていただいているところで、なかなか町のほうで何とかしてもらえないかというなお声もありますので、当然それは管理責任上うちのほうがするべきだと思っていますので、その辺は来年度の予算で少しずつ対応させてもらったと思います。

あと内海中学校の国道に面したほうになるんですけど、学校のグラウンドと国道の歩道との境に、大きなイチョウの木ですかねあれ、大木が何本かあるんですけど、それめかなりやっぱ

り見栄えが悪いという話があって、なんせ木が大きいので、なかなか地元の方をお願いするにしてもちょっと対応に限度が、限界があったりするので、この部分については、実は12月の補正予算のほうで樹木の伐採の予算を計上させてもらおうかと思っています。

ただ、木が大きいのと本数があるので、見積りを取ると200万円ぐらいオーバーはしてしまうということですが、地域のそういう美観であるとか、地域の皆さんの環境対策ということも踏まえて、また予算を上げさせてもらいますので、ぜひ通してもらったらなと思います以上です。

○鷹野委員長 中野委員。

○中野委員 もうこれ時間もあれやし、ここまであれしたら今日のうちにはなかなか、午後からは何かあれ予定もあるみたいで、ここは一応継続いう形で打ち切って、次にもう一度何かいつかまた、タイミングのいいとき、来てもらえるときに再度、継続でやったらと思うんですがどうでしょう。これなかなか今日のうちにちょっとでは終わらんと思います。

○鷹野委員長 石川委員。

○石川委員 一点だけ、最後に。先ほどもちょっと言ったんですが、この学校も行政財産から早急に普通財産に移して、計画を早急につくっていく方向を考えるべきだと。もう学校が閉校したのに学校教育課が担当しているというのもちょっと無理があるんじゃないかなというふうに思いますし、この部分については町全体でやっぱり議論して、執行部のほうで売却するのか、どういう活用にするのかっていうのを、やっぱり計画としてまとめていく必要があると思います。そういう検討をお願いします。

○鷹野委員長 ありがとうございます。時間も結構迫ってまいりましたので、今日、説明員の方は退席をお願いいたします。忙しいとこすいません、ありがとうございます。

(説明員退席)

○鷹野委員長 いろいろと意見がかなり出まして、活発な意見ありがとうございました。

いずれにせよ、計画を立てながら、先を見越した、やっぱりその廃校施設をどうするかということ、非常に大切だということでございます。

それで、今後、委員会でどうするかということ、ちょっと皆さんと話し合いたいと思いますが、いかがでしょうか。

先ほど吉田委員から、県内にもあるというような、そういうのもちらっとあったんですが、例えばその視察ですね、成功事例している行政視察をするということもあろうかとは思いますが、その辺、皆さんいかがでしょうか。

吉田委員。

○吉田委員 ワンポイントなんですけど、11月空いているのが1か所だけあって、日帰りであれば、内子町の学校を活用して宿泊とそれから体験学習、旧長田小学校、それからさつき砥部町、これが28日にバスツアーをするんですね、これからこれどんどんやっていくと、いくはずなんですけども、その経緯も含めて、行政と伊予銀行とそれから民間がタッグを組んで、利活用ですね、遊休不動産の利活用をテーマとした共同イベントをしていくということなんで、こういったのも一緒に聞きながらすれば、内子、砥部で1日、十分日帰りできるので。

それで我々もうこれ出していかなきゃまずいよね、これもう延々とずっとやっていくというね、もうこれもう一緒なので、もう12月の定例できちっとこういうふうな案件を出していく。もう見て、それから今日話し合いをして、ある面では結論も出ていくので、方向性を我々が提案していくというのはもう早めにやったほうがいいんじゃないかなと私は思います。

○鷹野委員長 石川委員。

○石川委員 この、今の、今日の会議がまだ十分議論尽くされていないんじゃないかなと。もう一回この委員会を、もう一回開いて、あと視察するかどうかいいうのも、場所の検討もしないといけないと思いますし、そういう形で拙速に進める必要性は、私は感じていないんですが。

○鷹野委員長 中野委員。

○中野委員 石川委員言われたけど、11月にちょっともう一回、11月28日とかいうと、それまでもう一回集まる、皆さんのスケジュールどうなんですか、一回ぐらいたる必要がやっぱりあって、そこであれも含めて。12月にどうしても出さんといけんいう話はちょっとなかなかこれ今から出して、もうこれこのまま、まだない中で、11月28日ってまたその後またあれしてっていったら、それこそ何かスケジュール詰まってきて、もう3月ぐらいたる忙しい、急ぐっていうんであれば3月ぐらいたるでも、別に、どうしても12月という話がちょっと本当に石川委員が言われたように、急ぎ過ぎているような形もせんでもないんですが。皆さんの意見ですけど、ちょっと今日のあれからいくと、まだ全然議論が中途半端な中で、どうかなと思います。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 28日はこれは向こうが開催するだけで、我々がそれに参加するんじゃないんですよ。28日にバスツアーをするので、そういうのを、どういうふうにこういういきさつになっていったのかっていうのを一応、現地視察で聞くということです。

で、僕は急いで、取り急ぎってということではなくて、道筋を我々委員会が理事者に対して提案をしていく、こういうふうな結果になりましたよっていうのは別に時間かけてこんな案件で見て、でこの状況を諮って、これでこういうふうにしていったらどうですかっていうことを我々が報告するのは、そんなに時間をかけてやるべきもんでもないし、これ見て、現地視察するか別にして、今日話合いをして、ある面ではもう一回、もう一回当然必要ですよ、もう一回必要やけども、まとまっていくんじゃないですかね。

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 私も、視察、さっきも自分でも言いましたけど、成功事例を見てきたほうがいいんじゃないかなと思っていて、それはその、今どういうふうを活用しているかっていうだけじゃなくて、やっぱりそれを活用するまでのプロセス、役場の中で、例えばどんなチームをどんな課から人を集めて、どんなチームをつくって、どういうふうに地域の人たち、住民を巻き込んで、一緒にやって成功しているかっていうところを、全体をやっぱり見たほうがいい提案ができるんじゃないかなと思って、それを考えると、11月に視察できたとして、急げば12月頭の議会に間に合わないかもしれないけど、集まる時間がある、視察と議論をする時間、2回は最低あるので、しかも視察先、本当にいいところを見たいので、選ぶ時間も、各自が一生懸命探したらいいんだと思うんですけど、考えると12月かなり厳しいかなという気はしますね。

希望としてはとにかく本当にいいところを全体として見たいという希望が私にあります。

○鷹野委員長 吉田委員。

○吉田委員 12月の定例に出すんじゃないくて、早めに我々が視察しながらね、もう決めていかんと、だらだらだらだら延ばしても駄目でしょ。12月に絶対出なさいよということではないですよ。

さっき金繁委員が言われたようにこの砥部のやつっていうのは、これもう実際28日にバスツアーがあるわけですよ。もう、どういうチームを組んでどういうふうにしてどういうふうにしたのかっていうのは、多分分かると思うので、そういう面では愛南町がするかしないかは別にして、こういうのを一つの提案として、たたき台にできるんじゃないかなということでした。

以上です。

○鷹野委員長 田中副委員長。ああ、事務局ありますか。

○土居事務局長 皆さん活発な御意見、御議論ありがとうございます。

今後のスケジュールを参考までに申しますと、12月定例会初日が12月3日、水曜日、最終日が12月12日、金曜日となっております。

それまでに、先ほど皆さんが御意見出されました先進地視察、そして今回の机上での審査につきましても、途中で終わっておりますので、中野委員おっしゃられたようにあと2回とか、必要になってくることを考えると、12月定例会で委員会報告するのはちょっと現実的ではないのかなあというふうに事務局では考えます。

参考までに申しました。

○鷹野委員長 田中副委員長。

○田中副委員長 吉田委員が言われた11月28日のやつ、僕もちょっとさっき見させていただいたんですけど、めちゃくちゃ参考になるんじゃないかと。どこが成功してる、成功していないとかっていろいろあると思うんですけど、やっぱり現地を見て話聞かないとあれなので、11月28日はそのプロセスだったりとか、伊予銀さんと組んでやっているとかっていうのも合わせて、参考にすべき案件ではないかなとは思いますが。なので、できれば視察には行きたい、行けるのであれば行きたいなとは思いますが、私個人は、多分、全国人権の大会がちょうどかぶっていますので、ちょっと参加、28日はちょっと難しいんですけど、後日でもいいかなと思うんです。どういうふうなやり方で砥部町がやっているっていうことは参考になるんじゃないかなと思います。

以上です。

○鷹野委員長 学校教育課とか、ほかの総務課、近くで成功している事例、先進地視察、その辺ないか聞いてみたいと思うんですが、その辺は構いませんか。何か、ここはいい成功例があるよってというような、ぜひ見てくださいっていうところがあれば、知らしてくれということよろしいでしょうか。

(「はい」と言う者あり)

○鷹野委員長 金繁委員。

○金繁委員 ぜひお願いします。そして私のほうも視察したいところがあって、それを出させていたでもいいですか。

○鷹野委員長 はい。

池田委員。

○池田委員 勝手な希望で、なるべく近場で、できるところでということです。

○鷹野委員長 そしたら、次回、早めに、この続き、机上審査をまたやりたいと思うのですが、事務局、空いているような日程ありますか。

事務局。

○土居事務局長 参考までに、来月の御予定を申しますと、今のところ、11月11日、火曜日が12月定例会の全員協議会を行う予定になっています。

(発言する者あり)

○土居事務局長 4日は、4日はないです。11月4日は一般質問の通告の日になっています。5日が産業厚生常任委員会の先進地視察で梶原町に行く予定になっています。11日が全協、あとは、11月26日、下旬が12月定例の一般質問の協議のため議運が開かれる予定になっています。先ほどおっしゃられたように11月11……

(発言する者あり)

○土居事務局長 人権研修は希望される方ですね。11月11日の議員全員協議会が多分午前中に行われますので、例えばその後とかというのも可能でしょうけど、またほかの、午後から本日開催予定の議会運営委員会等も協議を重ねなければならないこともありますので、その辺りほかの委員会との調整もして、この日どうでしょうかという候補みたいな照会をさせていただいたと思います。

以上です。

○鷹野委員長 そしたら、一応11日予定ということで、時間はあれして、いうことでよろしいで

しょうか、事務局。

○土居事務局長 はい。

○鷹野委員長 そしたら、そのようにさせていただきます。
その他、何かございますか。

(「なし」との声あり)

○鷹野委員長 最後、挨拶。

○田中副委員長 では、以上で総務文教常任委員会を終わります。

○土居事務局長 一点だけ。

○鷹野委員長 はい、どうぞ。

○土居事務局長 先ほど委員長おっしゃられた11月11日の全協後も、ちょっとほかの委員会との調整もさせていただきたいので、決定ではなくて、あくまで候補日ということでお考えください。

以上です。

(発言する者あり)

○土居事務局長 そうですね、議長いないんですね。14日、はい、分かりました。またその辺り照会させていただきます。

○鷹野委員長 14日も候補ということで、すいません。

(発言する者あり)

○鷹野委員長 そしたら、以上で終わります。

委員長